

* 編集後記 *

3月号は、二期8年にわたり国際ジオシンセティックス学会で理事を務められた勝見武教授に、理事活動のご経験を通して感じられた、海外における情報交流の国境の低さ、マイクロプラスチック問題など関連社会問題に素早く対応される委員会活動などへのご感想とともに、今後国内でもあるべき姿勢などについてご執筆いただきました。勝見教授におかれましては、ご多忙中にも関わらずご執筆賜り、ありがとうございました。

毎年3月号は年末に開催のシンポジウムの席上で表彰されたジオシンセティックス学会日本支部賞を受賞された皆様から、「受賞に際して」をご執筆いただくことが恒例になっております。この3月号でも、年末12月に対面とwebを組み合わせたハイブリッド形式での表彰の状況に関して表彰委員会のご報告とともに、表彰を受けられた皆様から受賞に際しての原稿を執筆いただき掲載させていただきました。急なご依頼に対しましてご対応いただき感謝申し上げます。

コロナ禍も約3年経過しました。この3月13日からは政府のマスク着用基準変更など新たな場面に移行しようとしています。留意は今後も継続する中、少しweb通信に慣らされてきた状況に対して、展望で勝見教授もご記載の「欧米の一足早い国際的な往来など」のように交流の活発化を期待してまいります。

末筆となりますが、ご多忙の中、原稿のご執筆にご協力いただきました方々に心から御礼申し上げます。

本号担当：高橋真一、小浪岳治、竹本慎一

I G S日本支部編集委員会(名簿)

委員長	木幡 行宏	室蘭工業大学大学院 工学研究科
幹事	西村 淳	三井化学産資(株) 事業本部
委員	藤城 裕也	太陽工業(株) 国土事業本部
委員	内村 太郎	埼玉大学大学院理工学研究科
委員	江崎 孝二	ユニチカ(株) 不織布事業本部
委員	竹本 慎一	(株)クラレ 繊維カンパニー
委員	小浪 岳治	岡三リビック(株) 研究開発部門
委員	高橋 真一	(株)大林組 技術研究所
委員	土橋 和敬	前田工織(株) 環境資材事業本部
委員	角田 晋相	(株)銭高組 技術本部技術研究所
委員	山中 光一	日本大学 理工学部
委員	梶尾 孝之	大嘉産業(株) 産業資材事業部 開発部

I G S日本支部会員現在数(2023年3月末現在)

個人会員 197名 学生会員 5名 特別会員 18社 合計 220名

令和5年3月25日

ジオシンセティックス技術情報(国際ジオシンセティックス学会日本支部・会誌) Vol.39, No.1
発行: 国際ジオシンセティックス学会日本支部

〒112-0011 東京都文京区千石4丁目38番2号 (公益社団法人 地盤工学会内)
事務連絡: 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
埼玉大学 工学部 環境社会デザイン学科 内村研究室内
TEL 048-858-9002 FAX 048-858-3573 E-mail secret@jcigs.org